

Title	『キリスト教と諸学』総目録 : Vol.1～Vol.12
Author(s)	聖学院大学・女子聖学院短期大学宗教センター
Citation	キリスト教と諸学 : 論集, Volume13, 1998.12 : 77-88
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3198
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

『キリスト教と諸学』総目録

第一号（一九八六年度）

巻頭言に代えて……………	W・G・クレーラ……………	1
現代日本におけるキリスト教学校の存在意義……………	古屋安雄……………	4
再生への軌跡―人格教育への提言―……………	沓掛義男……………	33
一般教育における人間教育……………	W・G・クレーラ……………	43
教える時、教えられること……………	福田ソノ子……………	49
日本におけるキリスト教教育の意義……………	大木英夫……………	60
あとがき……………	西谷幸介……………	89

第二号（一九八七年度）

聖学院の理念……………	近藤勝彦……………	1
大学教育の国際化への道―「開放性」への意識の変革を求めて―……………	藤樫道也……………	28
人は何によって人となるか―「人格教育」への神学的提言―……………	西谷幸介……………	33
キリスト教的視野に立つ文学研究序説……………	竹野一雄……………	55
〔特別寄稿〕		
女性論における聖書の視座―第一テモテ書二・八―一五の問題―……………	阿部洋治……………	72
発刊の言葉「キリスト教と諸学」……………	W・G・クレーラ……………	82

第三号（一九八八年度）

教会形式と文化形式	近藤勝彦	1
「時」について	内藤淳一郎	21
国際化時代におけるキリスト教学校の言語教育―国文科の立場から―	岩崎摂子	43
キリスト教大学の形成課題	中川秀恭	53
発刊の言葉「キリスト教と諸学」	学長 W・G・クレーラ	66

第四号（一九八九年度）

シェイクスピア悲劇とキリスト教……………杉本栄司……………1

あなたの命は誰のもの……………絹川久子……………18

短大生の心と体——家族としてどうつきあうか……………滝口俊子……………41

信教自由・政教分離を問う——欧米・日本における「国家と宗教」……………酒井文夫……………58

キリスト教と日本教育史……………石津靖大……………91

第五号（一九九〇年度）

われ、ここに立つ	大木英夫	1
喜びと望みを運ぶ	阿部志郎	9
これからの日本とキリスト教教育	倉松功	29
南原 繁の「時代を見る眼」	酒井文夫	43
ルソーの消極的教育について	阿部洋治	65
——自由教育の意味を探る——		
Oh Christianity, Christianity	ケネス・O・アンダーソン	90 (1)

第六号（一九九一年度）

アジアの社会情勢とキリスト教……………隅谷三喜男……………1

日本思想史学としてのキリスト教史研究……………鵜沼裕子……………9

——方法論の問題を中心に——

関係性の神学……………菊地順……………23

——ティリツヒの体系的視点とその根本問題

紹介、マーフィ「ライデンに於けるピルグリム達」(1)……………金丸平八……………63

市来陽子
斉藤博子

第七号（一九九二年度）

宗教学から見たキリスト教.....	J. D. リード.....	1
産業構造と情報化.....	磯部浩一.....	13
——精神的要素と物質的要素——		
20世紀末を生きる現代青年の地球規模での社会不安と危機意識に関する若干の考察.....	丸山久美子.....	21
——「身代わりの山羊」雑考——		
昭和の異端審問.....	加藤恵司.....	37
——治安維持法の運用とその法思想史的考察——		
~ Governor Bradford's Letter Book, についで.....	三浦眞理.....	57
ジョン・ミルトンにおける寛容思想（トレレーション）について.....	佐野正子.....	77
紹介、マーフィ「ライデンに於けるビルグリム達」(2).....	金丸平八.....	93
	市来陽子	
	斉藤博子	

第八号（一九九三年度）

〔説教・講演〕

天の顔……………ハインリッヒ・オット……………1

人を生かすもの……………渡辺和子……………7

誰かがしなければいけないことを……………谷昌恒……………25

〔論文〕

現代神学における二つの時間論……………菊地順……………41

——テイリッヒとバルトをめぐって——

「北村透谷におけるキリスト教」という問題……………清水均……………63

——石坂ミナによる、「再生」と「転倒」の有効性——

ペーター・バイヤーハウスにおける「霊の見分け」神学 (diakrisis) ……荒木忠義……………81

学校伝道へのささやかな提言……………菊地順……………91

——「全学礼拝レポート」を通して——

〔本の紹介〕

折口信夫「神道の友人よ」他三篇……………濱田辰雄……………101

〔新刊書評〕

アルフレッド・ド・ミュッセ「ロレンザッチョ」……………鹿瀬颯枝……………111

第九号（一九九四年度）

〔説教・講演〕

ガダルカナルからの道―人間の死と生―	新屋徳治	1
二十一世紀への準備―七カ年計画	大木英夫	13
ガルスとその生涯	保谷六郎	20

〔論文〕

矢内原忠雄における平和思想	酒井文夫	35
キリスト教教育と大学体育の課題―車椅子の学生の授業を通して―	梅津迪子	71
カナダにおける民族の多様性―ヒュー・マクレナンの作品を中心に―	千田明夫	84

〔書評〕

『現代キリスト教の靈性』W・パネンベルク著	西谷幸介訳	丸山久美子	95
-----------------------	-------	-------	----

〔論文〕

An Investigation into the Biblical Record of the Incarnation of Jesus Christ	Evert.D.Osburn	128
		(1)

第一〇号（一九九五年度）

〔講演〕

キリスト教文化としての大学・短大……………赤城 泰……………1

〔論文〕

内村鑑三における愛国・平和思想……………酒井文夫……………33

西欧中世のキリスト教と科学……………標 宣男……………75

キリスト教保育を求めて……………小島 富美子……………99

M・エンデの或る小品について―素材としてのトロイア戦争と「マタイ伝」内の記述―小谷 哲夫……………115

精神の戦い―ランボー作品史の一側面―……………齋 藤 豊……………125

ユウテュプロンは敬虔の意味を知っていたか？……………西村 虔……………152
(1)

第一一号（一九九六年度）

〔講演〕

人間観、世界観の確立をめざして……………山本襄治……………1
 人間の新しい可能性―新しい自己イメージを求めて―……………金子晴勇……………23

〔論文〕

日本キリスト教史叙述の一視点―思想史と実証史の「溝」をめぐる―……………鶴沼裕子……………35
 ルネサンスと科学革命……………標 宣男……………47
 シオン城、バイロンそして透谷―『楚囚之詩』論のための序―……………黒木 章……………73
 T・S・エリオットにおける愛 *The Confidential Clerk* 試論……………氏 家理 恵……………114(43)
 「政治倫理と宗教倫理」に関する若干の考察……………丸 山 久美子……………138(19)
 宗教改革直前のドイツ教会―ニコラウス・クザーヌスとヴィルスナツクの聖なる血の崇拜―……………渡 邊 守 道……………156(1)

第一二号（一九九七年度）

〔講演〕

現代とみことばと大学……………	池	明観……………	1
自己愛と隣人愛……………	李	仁夏……………	13
世界におけるキリスト教学校の意義……………	古屋	安雄……………	25
ヴィジョンなきところ、その民は滅びる―日本国憲法施行五〇年目に―……………	大木	英夫……………	51

〔論文〕

「二つのJ」と「種の論理」……………	澁	谷	浩……………	57
日本キリスト教史研究のひとこま―村岡典嗣と大内三郎氏―……………	鵜	沼	裕子……………	67
短大授業「キリスト教と科学」担当にあたって……………	志	田	俊郎……………	77
ニュートンの動力学とその世界……………	標		宣男……………	93
日本におけるロバート・ブラウニングの受容……………	山	本	昂……………	147 (1)